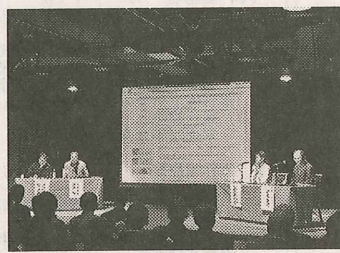


二子玉川地区を知の交差点に

東京都世田谷区の二子玉川地区が進められている大規模再開発事業をモデルに、知的創造型産業が集積するビジネス地域「クリエイティブ・シティ」の実現に必要な都市



環境の検討や社会実験などをを行う民間組織「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」(会長・小宮山宏三菱総合研究所理事)は26日、玉川高島屋アレーナホールで「クリエイティブ・シティ・フォーラム2011」を開催した。写真。

地域住民や会員企業関係者ら多数が参加。金正勲慶大准教授の基調講演

フォーラム2011開催

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

付け、丸の内・大手町を超えるビジネス拠点の創造を目指すとした。

や二子玉川出身のミュウジシャン向谷実氏を交えた。パネルディスカッション、ワーキンググループの活動報告などを行った。パネルディスカッションでは、二子玉川エリアに、クリエイティブな才能を持った人材が集まる場をつくるのが重要だと指摘。仕事と住居、自然環境がそろった二子玉川を、知の交差点と位置

同コンソーシアムは昨年8月、三菱総合研究所、コクヨファニチャー、東京急行電鉄、東京電力、日本IBM、NTTの6社が発起人となり設立。現在は日建設計、アール・アイ・エー、戸田建設、東急建設、東急不動産、岡村製作所、東京ガス、富士通など52社の法人会員と学術会員、後援会員らが名を

丸の内など超えるビジネス拠点創造へ

'11.1.27

二子玉川の可能性テーマに

フォーラム2011を開催

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム

東急電鉄ら6社を発起人とするクリエイティブ・シティ・コンソーシアム（小宮山宏会長）は26日、「変化する都市・ワーク・ライフと二子玉川の可能性」をテーマにクリエイティブ・シティ・フォーラム2011を開催した。写真。クリエイティブ・シティのグラウンドデザインをパネルディスカッション形式で討議したほか、金正勲慶應義塾大学准教授による基調講演などを行った。

クリエイティブ・シティ・コンソーシアムは大規模再開発が進む二子玉川地区をモデルに、クリエイターやイノベーターの集結による新たな価値

と産業の創造を検討する組織。小宮山会長はフォーラムの冒頭に「二子玉川の地に世界で最もクリエイティブな地域をつくらうという趣旨で立ち上げた。エコ、全ての人が参加できる、一生かけて成長し続ける、経済的にアクティブで十分に雇用がある、この4つがこれからの人類がほしい社会だと考えている。そういうまちをつくらう」とコンソーシアムの目標を説明した。

パネルディスカッションにはコンソーシアム副会長の松島克守氏やNPO法人CANVAS副理事長の石戸奈々子氏ら4人が参加。金正勲氏は「創造社会の到来と都市の未来」と題して基調講演した。

コンソーシアムは11年中に再開発施設内に活動拠点カタリストBAを設置。（仮称）順次プロジェクトを展開していく。

